

令和7年度

学校の取り組みに関する資料



令和7年7月

那覇市立城北中学校

目 次

1. グランドデザイン	1
2. 学力向上推進	3
3. 学習評価について 各教科からの評価の観点	6
4. 「城熱タイム」（総合学習）	7
5. 生徒会活動と団活動	9
6. 向上無限 Diary の取り組みについて	10
7. よりよい進路選択をするために 城北中から受検できる高校	12
（資料）欠席日数について	14

令和7年度 城北中学校グランドデザイン

～仲間になる！「みんなてつくるみんなの城北中学校」

生徒、職員、保護者（地域）心一つに「チーム城北」～

理念
校訓

◎「向上無限」無限の可能性をどこまでも伸ばす

教育
目標

心身共にたくましく
人間性豊かで
向上し続ける生徒の育成

めざす
生徒像

★心身共にたくましく人間性豊かで向上し続ける生徒

【知】真実に学ぶ生徒（自分の意見や目標をもって良さを生かしながら探究する力・協働的に学ぶ力・情報を整理し説明する力）

【徳】心豊かな生徒（豊かな心を育み、互いの良さを感じ、認め合い、支え合う人間関係を築く力）

【体】たくましく健康な生徒（自己の健康安全を認識して主体的に行動し、心身共に健康な体をつくる力）

（【意】進んで働きねばり強く頑張る生徒）

◎学校が楽しい85%（最重要経営達成指標）

育成する
資質・能力

生徒指導

学力向上

■資質・能力の育成を

めざす日常的な取組

①主体的・対話的で深い学びを
基軸とした授業改善

（授業が分かる 85%）

（書・発表（自分の考え）70%）

②①につなぐ「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

③生徒個々の心の成長を促す
道徳の授業づくり

④教科会を活用した一人一授業、目指す生徒像の実現に焦点を当てた校内研修の充実

■生徒指導の4つの

ポイントを活かした取組

①自己肯定感や自己有用感を育み、自己存在感が感受できる学級経営（良いところがある 90%）

②人と関わることの喜び、社会性を育む異学年による活動

③充実感を持たせ、一体感を深める生徒主体の行事・活動（学校が楽しい 85%）

④教育相談機能の発揮、不登校対策（支援・未然防止）（先生に相談できる 80%）

⑤教育環境（物理・心理）整備と部活動・地域と連携した活動、取組

一点突破
全面展開

キャリア教育

◎異学年集団による「総合的な学習」を中心とした学校全体でのキャリア教育

①基礎的・汎用的能力を育成する指導と評価

②「向上無限ダイアリー」活用等による自立した学習者の育成（ダイアリーの活用 50%～60%）

経営
方針

マネジメントサイクルによる教育目標の具現化と「地域とともにある学校」の実現

令和7年度 城北中学校 学校経営構想

学校教育目標 ○心身共にたくましく人間性豊で豊かで向上し続ける生徒の育成

【知育】真実に学ぶ生徒
【徳育】心豊かな生徒
【体育】たくましく健康な生徒
【意育】進んで働き粘り強く頑張る生徒

校訓：「向上無限」
～無限の可能性をどこまでも伸ばす～

学校経営目標

『学校は生徒・職員を幸せにするためにある』
～生徒・職員ともにベクトルを合わせた教育活動を推進し、「魅力ある学校づくり」を目指す～

令和7年度 重点目標 「仲間になる！」

「みんなで作るみんなの城北中学校」

【めざす学校像】

○安全、安心な地域に愛される学校
○生徒が行きたい学校、保護者が通わせたい学校、地域の方が応援したくなる学校
○生徒一人ひとりの自己肯定感を育み、安全・安心で自己実現できる学校
○「チーム城北」として教職員が連携・協力し、個々の持たせが発揮できる学校
○生徒に対し「尊敬・信頼・共感」を持つ学校

【めざす生徒像】

○明るく笑顔で気持ちよい挨拶ができる生徒
○夢や目標を持ち自ら学び、考え、行動し、挑戦し続ける生徒
○相手の思いや考えをしっかりと聞いたり、伝えたりしながらより良い考えを創造しようとする生徒
○他者への思いやりを持ち、協力しながらより良い関係をつくり、学校や地域に貢献しようとする生徒
○進んで働き粘り強く頑張る生徒【意育】

【めざす教職員像】

○教師生徒相互の協働により生徒の無限の可能性をどこまでも伸ばしていく教師
○生徒、保護者、地域に信頼される教職員
○生徒の成長、努力や成果を喜び、心の痛みや不安がわかる教師（共感力）
○「チーム城北」の一員として組織を大切に責任を果たす教師（同僚性と協働性の重視）
○学び続ける教師（向上力）
○明るく、健康な教師（活力）

★重点の実践事項

【知】真実に学ぶ生徒 確かな学力の向上

自分の意見や目標をもって良さを生かしながら探究する力、協働的に学ぶ力、情報を整理し、説明する力を育成する

- 「城北中授業スタンダード」の実現と授業力の充実
(一人一授業100%達成)
「令和6年度東部連合校等同一生徒学年比」+1P以上
①「学力向上推進PPⅡ」「同サバ」に基づく授業改善計画
②生徒指導4つのポイントを生かした授業実践(授業改善の推進)
③「指導と評価の一体化」の実現
④「向上無限Daily」の活用
⑤特別支援教育の推進
⑥家庭学習の習慣化と自学自習力の推進
⑦教職員の授業力の向上
・「わかる授業」「参加したくなる授業」の実践とICTの効果的活用
・個に応じた指導の充実(個別最適な学びと協働的な学びの推進)

【徳】心豊かな生徒 豊かな心の育成

豊かな心を育み、互いの良さを感じ、認め合い、支え合う人間関係を培う

- 誰ひとり見逃さない連携の強化(家庭・関係機関との連携：スクリーニングの徹底・教育相談の充実)
「自己理解、他者理解を深めていかなければならぬ」防止と早期解決を図る：初級対応に全力を投入
①認め合い、支えあう集団づくり
・支持的風土づくり4つのポイントを念頭に置いた取組の推進
②自治活動の推進
・生徒会活動・特別活動の充実
③規範意識の向上と積極的な生徒指導の充実
④豊かな心を育む道徳授業、人権教育の充実(ローテーション授業の実施)
⑤平和教育・環境教育の充実
⑥★探究型総合「城熟タイム」とキャリア教育の充実：自己の夢実現に向けて努力する生徒、主体的に行動できる生徒を育成する(基礎的・汎用的能力)の育成

【体】たくましく健康な生徒 たくましい体の育成

自己の健康安全を意図して主体的に行動し、心身共に健康な生徒を育成する

- 「健康に関する自己管理能力の向上」
「自己の課題が分かり、積極的に運動に関与し、生活改善を図る」
①基本的な生活習慣の確立と自己管理のできる健康教育の充実
・早寝、早起き、朝ごはんの徹底
・SNSなどの正しい使い方指導の充実
・喫煙・薬物乱用防止教育
・歯と口の健康教育の充実
②部活動のねらいを共通実践
・挨拶や返事、感謝や奉仕の心を育む
・週2日以上上の休息日の徹底
③安全教育の推進
・危機管理体制の確立
・避難訓練の実施
④体力・運動能力の向上

★信頼される学校づくり：目標実現に向け保護者や地域と連携し、協働して地域とともにある学校をつくる

- J-Net・スカール(CS)の推進(家庭・地域連携の充実)
○地域学校協働活動推進員等との連携・地域人材の活用
・PTCA組織の連携と充実
・学校評議員との連携
○学校の公開と情報発信
・学校便りHP、SNSの活用、発信、授業参観、学校行事の充実

- 小中連携と中1ギャップの解消
・小中の情報の共有と取組の充実
・城北中登校日の設定
○組織力の向上
・各業務分掌の責任と役割の遂行
・コンプライアンスの向上(規程規律を遵守し信頼される教職員)

マネジメントサイクル(PDCA)による教育目標の具現化と「地域とともにある学校」の実現

学校評価の実施(年2回)
関係者評価の実施(年2回)

生きる力を育む
『知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成』

次年度重点実践事項(目標、取組)の決定

達成評価最重要項目 85%以上の生徒が「私は学校に行くのが楽しい」と回答する

2、学力向上推進

1、城北中学校 令和7年度 学力向上推進目標

子どもの学びの姿に着目した授業改善による自立した学習者の育成

2、重点実践事項

資質能力の育成をめざした日常的な取り組みの推進

○各教科の特色を活かした実践研究(教科1代表授業)

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」および「学習基盤としてのICT機器」の活用

○生徒の学びの姿に着目したPDCAサイクルの実施

授業実践のあとの沖縄県生徒質問紙の変容からPDCAサイクルの実施を図る

3、城北中学校で育成を目指す資質・能力

知識技能	自分の意思や目標を持って、良さを活かしながら探究する力 協働的に学ぶ力 情報を整理して説明する力
思考力判断力表現力	他者を理解する力 他者と対話する力
主体的に取り組む態度	確かな学力の定着に向けて、粘り強く取り組む能力

4、各項目の取組

(1) 知識技能

指導と評価の一体化

→学びの定着を目指したテスト改善、評価改善

→「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる

(2) 思考力判断力表現力

言語活動の育成

→一教科代表授業の協働的な学びによる深い学びの実現

→教科会の充実による授業改善

(3) 主体的に取り組む態度

学習を支える力を伸ばし、学びに向かう学級作り

→体験的な活動や主体的な活動を意図

的・組織的・計画的に推進

5、学力検査の結果 各テストの推移 【各項目の+、-は那覇市正答率との差】

① 令和4年度入学（現高校1年生 学力推移）

	R4(1年次)		R5(2年次)		R6(3年次)
	学び確 6月	到達度 2月	学び確 6月	到達度 2月	全国学調 県平均差
国語	0.4	1.0	0.6	0.9	10.8
数学	4.5	8.7	4.5	0.8	7.4
英語			1.6	1.5	

②令和5年度入学（現中学3年生 学力推移）

	R5(1年次)		R6(2年次)		R7(3年次)
	学び確 6月	到達度 2月	学び確 6月	到達度 2月	全国学調 県平均差
国語	-0.3	-0.4	-1.2	1.9	6.0
数学	4.5	1.0	+4.1	2.0	9.0
英語			-0.3	1.3	

③令和6年度入学（現中学2年生 学力推移）

	R6(1年次)		R7(2年次)		R8(3年次)
	学び確 6月	到達度 2月	学び確 6月	到達度 2月	全国学調
国語	-2.7				
数学	3.4	1.0	3.2		
英語					

③令和7年度入学（現中学1年生 学力推移）

	R5(1年次)		R6(2年次)		R7(3年次)
	学び確 6月	到達度 2月	学び確 6月	到達度 2月	全国学調
国語					
数学	2.9				
英語					

主な学力調査テストとして、県が実施する学びの確かめ（6月、11月）、県到達度テスト（2月）

全国で実施される全国学力調査（4月）がありますが、いずれも国、数を中心として年度によっては実施されない教科に関しては斜線になっております。

6、実態【R6 学校評価生徒アンケートより 肯定的意見%】

		前期	後期
1	学校環境はきれいで落ち着いて安全に過ごせる場所である。	87	89
2	学校はいじめがなく安心して過ごせる場所である。	88	87
3	学校に行くのが楽しい。学校が好き。	73	76
4	毎日の授業がよくわかり、理解できている。	78	82
5	授業の初めでめあてを持ち、終わりにまとめ、振り返っている。	84	81
6	授業で自分の考えを書いたり、発表したりすることが出来る。	67	74
7	基本的な生活習慣が身についている。 (早寝早起き、スマホ時間、家庭学習など)	71	72
8	保護者と学校の話をよくする。	80	83
9	私には夢がある。	73	77
10	情熱タイム(探求型総合学習)に意欲的に取り組んでいる。	85	90
11	情熱タイムの探求活動で自分の意見や考えを持つことができる。	85	90
12	学校での学びが自分の仕事や生活に役立つと思う。	87	93
13	向上無限ダイアリーを活用している。	52	45

【成果】

○令和6年度、7年度ともに6月実施の全国学力学習状況調査や県到達度調査、学びのたしかめにおいて、沖縄県の平均および那覇地区の平均を超えている。

○各テストの分析から、沖縄県のグラフに比べ、中位層が上位によっていることから、バランスよく平均的な力が高い

○無回答率が県や地区に比べて低い。

○落ち着いて学びに向かう姿勢が出来ている

【課題】

●意味を問う問題や、文脈に即して漢字を正しく使うなどに課題が見られる。

●アンケート結果より、向上無限ダイアリーの活用が減少し、県の掲げる自立した学習者の育成の充実が必要

3. 各教科の学習評価について

学習評価は、文部科学省が示す各教科学習指導要領にある「目標」に対する生徒一人ひとりの達成度をみる「目標に準拠した評価」です。令和3年度より観点別学習状況評価は3観点となりました。

1 観点別評価について

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
何を理解しているか。 何ができるようになったか。	理解していること・できるようになったことをどのように活用しているか。	知識技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりすることに向けて、粘り強い取り組みの中で自らの学習を調整しようとしているか。
定期テストや単元テストなど	授業中の言動や話し合い活動の様子、問題解決の過程における生徒の活動の様子やワークシートやノートの記述内容など	自己の学習を整理しながら、粘り強く学ぼうとしている姿をとらえ評価する。授業への取組状況、学習の振り返りや自己評価の記述内容など※発表回数やノートの提出回数などのみによる評価ではない。

2 観点別学習状況の評価の達成率

規 準	達成率	評価
十分満足できるもののうち、特に程度が高いもの	87% ～ 100%	A ⁺
十分満足できる	80% ～ 87%	A
おおむね満足できる	47% ～ 79%	B
努力を要する	20% ～ 46%	C ⁺
一層努力を要する	～ 19%	C

3 観点別評価から評定への総括（那覇市統一）

※組み合わせは3観点の組み合わせを示したものであり、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の順で示したものではない。

※合計値は次の配点に基づいて算出。〔 A⁺ = 5点、A = 4点、B = 3点、C⁺ = 2点、C = 1点 〕

組 合 せ	合 計 値	基 準	評 定
A ⁺ A ⁺ A ⁺	15	十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの	5
A ⁺ A ⁺ A	14		
A ⁺ A A A ⁺ A ⁺ A ⁺ B	13	十分満足できると判断されるもの	4
A ⁺ A A A A ⁺ A A B	12		
A A A B A ⁺ B B	11		
A B B	10	おおむね満足できると判断されるもの	3
B B B A B C ⁺	9		
A B C B B C ⁺	8		
B B C B C ⁺ C ⁺	7		
B C ⁺ C C ⁺ C ⁺ C ⁺	6	努力を要すると判断できるもの	2
B C C C ⁺ C ⁺ C ⁺	5		
C ⁺ C C	4	一層努力を要すると判断できるもの	1
C C C	3		

4. 城熱タイム（総合学習）

本校の総合的な学習の時間は名称を「城熱タイム」としています。生徒一人一人が自分の生き方を考える「キャリア学習」と、自分たちで設定した課題の解決を通して学ぶ「探究学習」に取り組んでいます。1年生は自己を見つめ、自分の将来の生き方につなげる「キャリア学習」を中心に、2、3年生は自分たちで深めたい探究テーマを設定した「探究活動」を中心に活動します。

城熱タイム 学年テーマ

- 1年「自分探しの旅」… ドリームマップ、職業体験（ジョブチャレンジプロジェクト）
- 2年「城熱探究の旅 ステップ1」… 探究学習、城熱ツアー（修学旅行）
- 3年「城熱探究の旅 ステップ2」… 探究学習、夢実現プロジェクト（進路学習）

【1年生職業体験 ～ジョブチャレンジプロジェクト～】

地域のこども園、保育園や事業所の協力を得て、保育所や事業所に貢献できる企画・アイデアや実物の製作を通して職業の一端を体験するジョブチャレンジプロジェクトを計画しています①企画・立案②遊具開発・作成③プレゼンテーション④商品化⑤評価の探究プロセスを通して将来の働き方を考えるきっかけとするための職業体験学習です。



【2、3年生探究活動 ～コース紹介～】

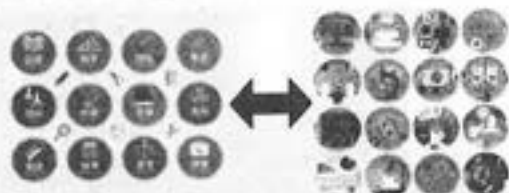
ローカルリサーチコース



地域の新たな部分や歴史・文化を発見するための探究する！
自分の地元を自信を持って話せる人になろう

- ・首里にある有名な食べ物屋さん
- ・首里方言について知ろう
- ・島国沖縄の海なし観光地

エキスパートコース



各教科の学びが社会生活の中でどのように活かされているかの探究する

- ・株や投資は本当に儲かるのか？
- ・生分解性プラチックについて
- ・ゲーム作成

Try SDG'sコース



2030年に向け持続可能な社会を創成するための探究するコース！
中学生目線で考えた取り組みを考えてみよう

- ・食品ロスレシピを作ろう！
- ・僕たちにできるSDG'sの取り組み
- ・LGBTについて

城熱タイムでの学習活動について（協力願い）

2, 3年生の探究学習では、生徒の主体的な活動や学習効果の高まりを促すために、次のような活動を計画しております。事前申請と保護者の承諾を必要とするものになりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力よろしくお願いいたします。

1 学校への学習用具以外の持込

探究活動に必要な場合のみに限定し、学習用具以外の個人の本、カメラ、タブレット、スマホ等の持込みを許可しています（事前申請が必要）。ご家庭でも管理や取り扱いの確認をした上で申請していただきますよう、お願いいたします。

2 授業時間内での校外学習

探究活動の一貫として、校外での実地調査や資料収集が必要であると申請したグループについては、申請内容を審議した上で、授業時間内に生徒のみでの校外への外出を認めています。ご家庭でも活動場所、移動手段や交通費の有無、連絡用のスマートフォンの所持等の確認をお願いします。また、活動場所によっては保護者の引率、送迎が必要な場合もありますので、ご協力よろしくお願いいたします。

学習ボランティア募集します

◆ 校外学習での引率、送迎

毎週金曜日 13:30~16:00

（申請があった場合のみ）

◆ 3年生模擬面接での面接

2学期を予定しています。

（1, 2年の保護者も歓迎です）

◆ 城熱博（城熱タイム発表会）での記録係

10月31日(金)13:30~16:00を予定しています。

（可能な時間のみでの交代可）



※ 詳細については、後ほどお知らせいたします。



5. 生徒会活動・団活動

城北中の生徒会活動は「君も僕も生徒会、学校をつくるのも僕らだ!」のテーマの下、頑張っています!!

昨年度の活動として、「校則改正の取り組み」はマスコミでも紹介され、市の教育委員会で進捗状況について、報告会なども行いました。

今年度の主な取り組みとして、「クロムブックガイドラインの作成」と「創立 50 周年記念事業への協力」があります。また、各委員会の活動にも力を入れていきます。例年通り、団活動を通して行事も取り組んでいきます。

保護者の皆さん、城北中学校生徒会への熱い応援をよろしくお願いします。

生徒会(各種専門員会)・団の主な活動

★1学期

- ・ 生徒会入会式
- ・ 生徒総会
- ・ 地区中体連選手激励会
- ・ 生徒会親睦レク
- ・ 城熱祭
- ・ 給食コンクール(給食委員会)
- ・ Diary 表紙コンテスト(学芸委員会)
- ・ 立腰コンクール(生活委員会)

★2学期

- ・ 修学旅行壮行会
- ・ 城熱カップ(体育委員会)
- ・ 多読者表彰(図書委員会)
- ・ 掲示物コンクール(報道委員会)
- ・ 合唱コンクールポスターコンテスト(学芸委員会)
- ・ 美化コンクール(美化委員会)
- ・ 世界エイズデーのレッドリボン(保健委員会)



昨年度の城熱祭
団対抗の種目が楽しい!



執行部から下ろされたテーマに基づいて学級討議

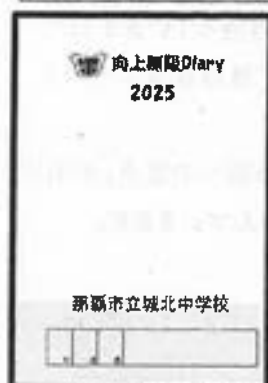
中体連選手激励会



今年から団の呼び名が変わります。(BとDの聞き間違いがあったため)
A⇒first(ファースト)団、B⇒second(セカンド)団、C⇒third(サード)団、D⇒fourth(フォース)団

6. 向上無限 Diary の取り組みについて

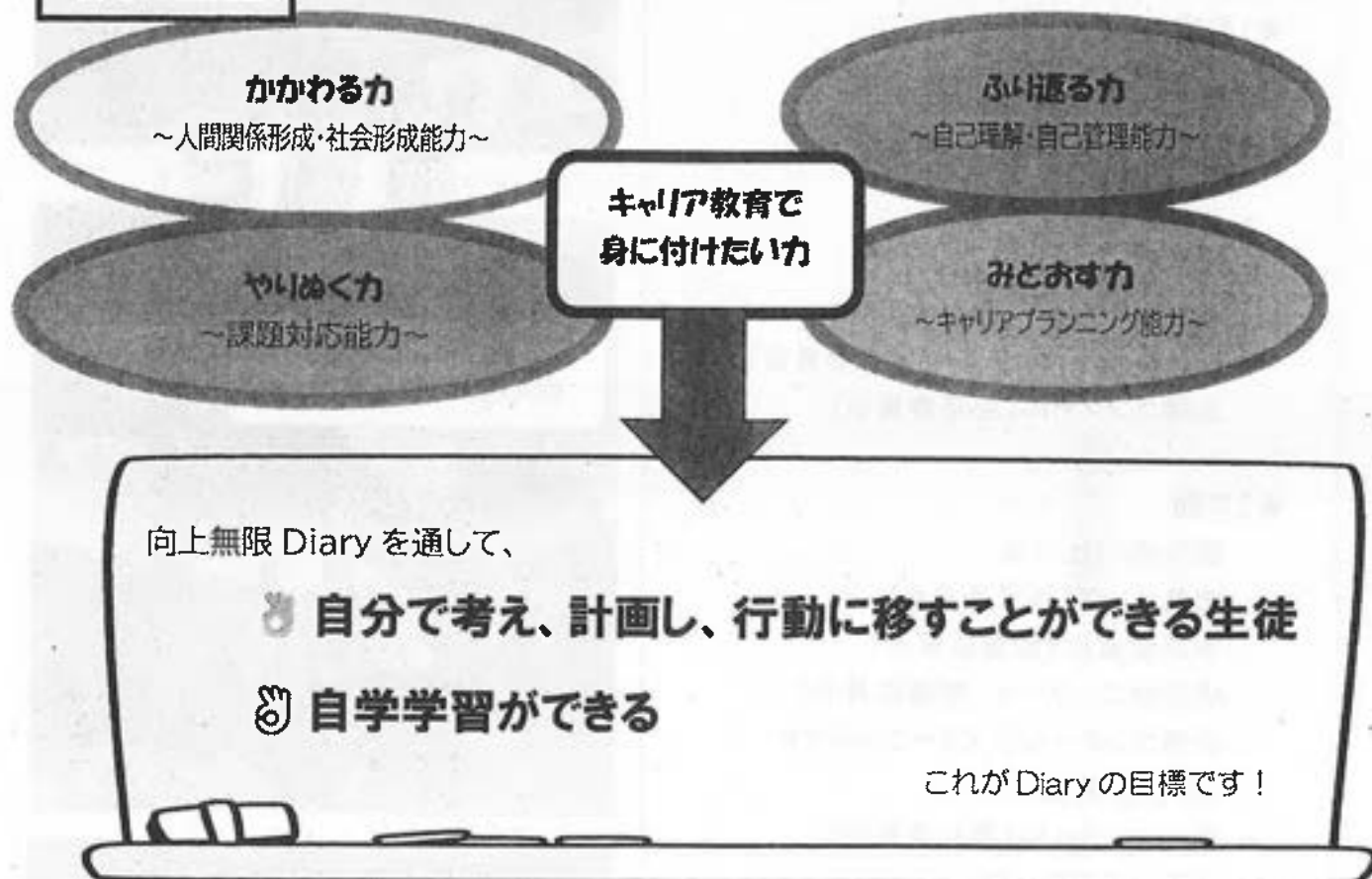
向上無限 Diary とは？



キャリア教育の基礎的・汎用的能力に基づいて、生徒の自立を支援するための1つのツールとして、本校が行っている取り組みです。

キャリア教育とは？

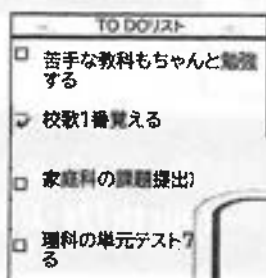
1人1人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることをとして、キャリア発達を促す教育のこと



向上無限 Diary2025 はこう使う！①

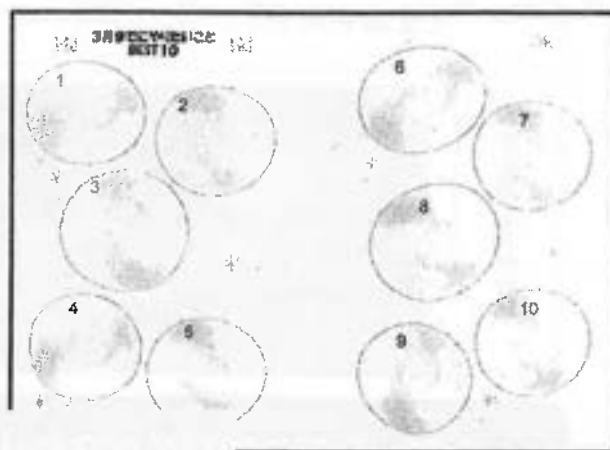
3月までにやりたいこと BEST 10

⇒ 自分の目標ややるべきことを明確化する

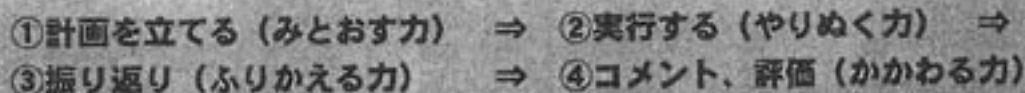


TO DO リストの活用

⇒ 自分の目標ややるべきことから、TODO リストを作成。少しずつ目標に近づけていく



向上無限 Diary2025 はこう使う！②

[illegible]

PDCA のサイクルを可視化し、自己成長につなげる

こんなページも
あります

城北中から受験できる高校一覧

國立中央大學圖書館中文圖書分類表										
A. 自然科學類 (Natural Sciences)										
分類	類名	類號	類名	類號	類名	類號	類名	類號	類名	
00	總論	000	01	數學	010	02	物理學	020	03	化學
04	天文學	040	05	地質學	050	06	生物學	060	07	醫學
08	農學	080	09	林學	090	10	獸醫學	100	11	藥學
12	衛生學	120	13	營養學	130	14	牙科	140	15	牙醫
16	護理學	160	17	醫藥學	170	18	藥劑學	180	19	藥理學
20	藥學	200	21	藥學	210	22	藥學	220	23	藥學
24	藥學	240	25	藥學	250	26	藥學	260	27	藥學
28	藥學	280	29	藥學	290	30	藥學	300	31	藥學
32	藥學	320	33	藥學	330	34	藥學	340	35	藥學
36	藥學	360	37	藥學	370	38	藥學	380	39	藥學
40	藥學	400	41	藥學	410	42	藥學	420	43	藥學
44	藥學	440	45	藥學	450	46	藥學	460	47	藥學
48	藥學	480	49	藥學	490	50	藥學	500	51	藥學
52	藥學	520	53	藥學	530	54	藥學	540	55	藥學
56	藥學	560	57	藥學	570	58	藥學	580	59	藥學
60	藥學	600	61	藥學	610	62	藥學	620	63	藥學
64	藥學	640	65	藥學	650	66	藥學	660	67	藥學
68	藥學	680	69	藥學	690	70	藥學	700	71	藥學
72	藥學	720	73	藥學	730	74	藥學	740	75	藥學
76	藥學	760	77	藥學	770	78	藥學	780	79	藥學
80	藥學	800	81	藥學	810	82	藥學	820	83	藥學
84	藥學	840	85	藥學	850	86	藥學	860	87	藥學
88	藥學	880	89	藥學	890	90	藥學	900	91	藥學
92	藥學	920	93	藥學	930	94	藥學	940	95	藥學
96	藥學	960	97	藥學	970	98	藥學	980	99	藥學
100	藥學	1000	101	藥學	1010	102	藥學	1020	103	藥學
104	藥學	1040	105	藥學	1050	106	藥學	1060	107	藥學
108	藥學	1080	109	藥學	1090	110	藥學	1100	111	藥學
112	藥學	1120	113	藥學	1130	114	藥學	1140	115	藥學
116	藥學	1160	117	藥學	1170	118	藥學	1180	119	藥學
120	藥學	1200	121	藥學	1210	122	藥學	1220	123	藥學
124	藥學	1240	125	藥學	1250	126	藥學	1260	127	藥學
128	藥學	1280	129	藥學	1290	130	藥學	1300	131	藥學
132	藥學	1320	133	藥學	1330	134	藥學	1340	135	藥學
136	藥學	1360	137	藥學	1370	138	藥學	1380	139	藥學
140	藥學	1400	141	藥學	1410	142	藥學	1420	143	藥學
144	藥學	1440	145	藥學	1450	146	藥學	1460	147	藥學
148	藥學	1480	149	藥學	1490	150	藥學	1500	151	藥學
152	藥學	1520	153	藥學	1530	154	藥學	1540	155	藥學
156	藥學	1560	157	藥學	1570	158	藥學	1580	159	藥學
160	藥學	1600	161	藥學	1610	162	藥學	1620	163	藥學
164	藥學	1640	165	藥學	1650	166	藥學	1660	167	藥學
168	藥學	1680	169	藥學	1690	17				

学校の決まりについて

城北中学校の決まりについて

城北中学校の校則は、生徒の健全な成長と、学校生活の円滑な実施を目的として制定されています。校則は、生徒の行動規範として機能し、学校生活の基盤となります。

校則の制定は、教育委員会との協議を経て決定されます。校則は、生徒の生活習慣の形成に大きく影響するため、厳格に守らなければなりません。

校則違反は、懲戒処分を受ける可能性があります。校則を遵守することは、生徒の義務です。

中学校生活について

中学校生活は、生徒の成長の重要な時期です。この時期に身につけた習慣や態度は、将来の人生に大きな影響を与えます。

学校生活では、勉強だけでなく、部活動や委員会活動など、様々な活動を通じて、自己の能力を伸ばし、社会性を身につけることが求められます。

生徒は、学校生活の中で、自己の個性を表現し、他者と協力し、共に成長していくことが大切です。

←進路に関しては、気になることも多いと思うので、必ず見てくださいね。

7. よりよい進路選択をするために

子ども達がこれから進路先を選ぶにあたって大切なことは、自分の個性や適正を自分自身が理解していることと、進路先と将来の生活との適切なかかわりです。

「自分のよさ」や「興味関心があること」を、お子さん自身が肯定的に捉え、自分の進路選択に活かせるよう、家族で話題にしてください。身近な人たちの経験談はとてもいいロールモデル(お手本)になります。

また、お子さんが希望する職業がある場合、希望の進路先とその職業とが、きちんとつながっていて望ましいかどうかなども話題にしていきたいです。

先輩達がいまの学校を選んだ理由は？

自分の学力に
あっていたから

進学に有利
だから

自分のやりたい
部活動ができる
から

自分の個性を伸
ばすことができ
ると思ったから

将来希望する職
業に役立つ技術
や学力が身に付
くから

資格が取得でき
るから

やりたい勉強が
できると思った
から

就職に有利
だから

校舎や設備が素晴
らしかったから

進路先を選ぶに当たって、進路先についての様々な状況について調べてみよう

【進学】・教育目標、授業内容、学校生活の様子や行事、取得できる資格、通学時間、学費等、卒業後の進路先など

【就職】・職種、社風、経営状態、雇用条件、採用条件、場所、通勤時間など

学校のホームペ
ージ、体験入学や
実際先輩の情報を
聞くこともいいで
すね。

ほかにも色々ありますが・・・

一時の気分や思いから進路先を決定してしまうと「こんなはずじゃなかった」と後悔することにもなりかねません。自分が期待している学校生活や職場生活をおくれる見通しをもてるかどうかあるいは家族や先生と相談して、納得のいく結論に達したかなど、様々な観点から確認することが大切です。



令和7年度入試（現高一年生）からの変更点
「推薦入試」から「特色選抜」へ

○生徒が自ら出願できる

- ・「中学校からの推薦」という形はない

○生徒の特性や個性を伸ばす

- ・高校が特色を明確に「目指す生徒像」として示す(志望校選択決定の資料)

例：S高校 ◇アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

次代を拓く、知性と品性を備えた逞しい人物の輩出を目指す伝統校であることを理解して、自他を大切にしながら、他者と協力して、学業、行事、部活動など、様々な教育活動に積極的に取り組んで、自他の可能性を広げようと常に努力する生徒を求めます。

- ・高校は「目指す生徒像」をもとに、資料(願書・調査書(内申)等)や面接・実技検査等(2月)そして学力検査(3月)をもとに合否を判定

○学力検査全員受検

- ・これまでの「推薦」では、合格(内定)→学力検査は受検なし
- ・新しい「特色選抜」では
面接・実技検査等受検(2月)→学力検査を受検(3月)→得点データを踏まえて→合否判定

○受検機会をこれまでどおり確保

- ・「特色選抜」と「一般選抜」で最大2校出願可能
- ・例：特色選抜(①S高校)+一般選抜(②U高校)
※もちろん、①+①でもよい
※学力検査は、一般選抜で出願した高校で受検(上の例では②U高校)

◎「特色選抜」まとめ・大切なこと

○高校の示す「目指す生徒像」の理解

- ・理解した上で、自分の現状と高校の示す「生徒像」を照らし合わせ、合致しているのか確認すること
- ・是非その高校に「特色選抜」で、と考えるのであればその「生徒像」に近づけること
- ・自ら各高校の、情報収集に努めること

○必ず学力検査がある。

- ・以前の「推薦入試」のように、部活動や各種検定、活動実績だけが合否の判断ではない。
学力検査のデータも判断材料。しっかり基礎学力を身に付けること

◆今日現在の欠額日数では、30日を超えるのか？ 30日を超えるための欠陥ペー—ス學見書【城北中】

*年^間30日超の欠席生徒は「長期欠席生徒」となります。

[illegible]

4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月30日	5月1日	5月2日	5月7日	5月8日
火	水	木	金	土	水	木	金	土	木
欠2	欠2	欠2	欠2	欠2	欠2	欠3	欠3	欠3	欠3

5月22日	木	欠4
5月21日	水	欠4
5月20日	火	欠4
5月19日	土	欠4
5月18日	金	欠4
5月17日	木	欠4
5月16日	水	欠3
5月15日	火	欠3
5月14日	土	欠3
5月13日	金	欠3
5月12日	木	欠3
5月11日	水	欠3
5月10日	火	欠3
5月9日	土	欠3

5月23日	金	5月26日	月	火	5月27日	火	5月28日	水	5月29日	木	5月30日	金	5月31日	土
欠4		欠4		欠5		欠5		欠5		欠5		欠5		欠5

命	火	木	金	月	火	水	木
欠6	欠6	欠6	欠6	欠6	欠6	欠7	欠7

6月20日	6月24日	6月25日	6月26日	6月27日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日
火	火	木	木	金	月	火	水	木	金
欠7	欠7	欠7	欠7	欠7	欠7	欠8	欠8	欠8	欠8

7月7日	火	7月8日	水	7月9日	木	7月10日	金	7月11日	土	7月12日	日	7月13日	月	7月14日	火	7月15日	水	7月16日	木	7月17日	金	7月18日	土	7月19日	日	7月20日	月	7月21日	火	7月22日	水	7月23日	木	7月24日	金	7月25日	土	7月26日	日	7月27日	月	7月28日	火	7月29日	水	7月30日	木	7月31日	金
------	---	------	---	------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

7月25日	8月20日	8月21日	8月22日	8月23日	8月27日	8月28日	8月29日	9月1日	9月2日
食	水	不	食	大 12時30分開始	水	木	金	A	火
欠9	欠9	欠10	欠10	欠補10	欠10	欠10	欠10	欠10	欠10

9月3日	9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日
水	木	金	土	火	土	金	土	木	金	土	火	土	火	水
欠11	欠11	欠11	欠11	欠11	欠11	欠11	欠11	欠11	欠11	欠12	欠12	欠12	欠12	欠12

9月18日	9月19日	9月20日	9月24日	9月25日	9月26日	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日
木	金	土	土	木	金	月	火	水	木
欠12	欠12	欠12	欠12	欠12	欠12	欠13	欠13	欠13	欠13

家の方	例えは……今日が、「6月10日(月)」ならば……
月日	「父戚らには……リズムを取り戻したい」といふ体面を懸け、愚弄等で体調を崩しやすく、父戚が
曜	加える希望のことと考へるよ
ギリギリ	父戚30日(月)のペース……ということ…… 「7月」など、その日の「父Q」の数を踏まえていると、毎朝30日を踏めるペース

[illegible][illegible]

	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	11月16日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日
欠16	火	火	水	木	金	土・金曜日	火	水	木	金
欠17	欠16	欠16	欠15	欠16	欠16	欠16	欠16	欠16	欠17	欠17

11月25日	火	11月26日	水	11月27日	木	11月28日	金	12月1日	月	12月2日	火	12月3日	水	12月4日	木	12月5日	金	12月6日	月
欠17		欠17		欠17		欠17		欠17		欠17		欠17		欠18		欠18		欠18	

[illegible]

12月23日	12月24日	12月25日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月13日	1月14日
欠 火	欠 米	天 平 秤 買 入 付 金 天 平 秤 買 入 付 金	火	米	不	金	父	米
欠 19	欠 19	欠 需 20	欠 20	欠 20	欠 20	欠 20	欠 20	欠 20

[illegible]

1月29日	1月30日	2月1日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	2月10日	2月12日
木	金	月	火	水	木	金	月	火	木
欠22	欠22	欠22	欠22	欠22	欠22	欠23	欠23	欠23	欠23

2月13日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月20日	2月24日	2月25日	2月26日	2月27日
金	月	水	水	木	金	火	水	木	金
欠23	欠23	欠23	欠23	欠24	欠24	欠24	欠24	欠24	欠24

3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日
月	火	水	木	金	土・月曜	火	水	木	金
欠24	欠24	欠25	欠25	欠25	欠席25	欠25	欠25	欠25	欠25

3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
月	火	水	木
欠26	欠27	欠28	欠29

まだ「4日ゆとり…」ではない。

◆今日限の父の日では、30日を遅えるのか？ 30日を遅えないための穴場ページ早見表【城北中】

月日	4月3日	4月10日	4月11日	4月16日	4月18日	4月18日	4月21日
曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	月曜
30日 利率	欠第1 火曜	欠第1 水曜	欠第1 木曜	欠第1 金曜	欠第1 土曜	欠第1 日曜	欠第1 月曜

例文1...

欠14

「欠陥が多い」ということは…
「野来の社会的自立に関わる」ということ

「不登校」次の最後目「は」は「社会的孤立」
不登校の何が課題か。不登校はどんなことと関係するのか。

※社会的自目とは……基本的な生活習慣を身につけ、人間的にも
職業的にも、一人の社会人として自立している状態
つまり、不怠性は基本的な生活習慣が身について一人の社会人として自立す
ることに大きく関わる。不怠性が働く次第が多いと、社会的自立が図に
なる(人と比べて差をなせ)

社会人として必要な最低限の学力(学び・書き・語彙・思考・判断
力)や社会性(人と関わることに必要な力)が身についている(人的に)
に必要能力を身につけ、実用(生きるために必要な力)が身につきにくくなり
ます。

例えは：

- ・6月10日(月)の時点で、欠6(欠席日数が6日)なら、
年間の欠席日数が30日になるギリギリの欠席日数。
- ・6月10日(月)の時点ですでに欠席日数が7、9日等、6を超えている場合、このペースで欠席していくと年間30日以上の欠席日数になる

◆「欠席が多い」ということは、「将来の社会参加能力」や「進路」に大きく影響します。

※年間30日以上欠席(中学校各学年)は、多くの県立高校入試の合格基準において
※欠格事項、審議事項とされています。

「文庫が多い」ということは…

「進路に関わる」ということ

不登校支援の基本的な考え方
 ……不登校の時期が休養や自分自身を見つめ直す等積極的な意
 味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や
 は、最終自立へのリスクが存在することに留意すること

* 多くの県立高校入試の場合基準において欠格事項、審議事項
※例：県立A高校(R6入試)

選抜の普通
次の①～⑤の事項に該当する者は……他の受検生と区別する。
①長期や常習(理由の知照にかかわらず、いづれかの学年で30日以上)の欠席がある者。
また、中学3カ年を満して合計50日以上(欠席がある者)。

◆狭義の「進路」

「本書の道程（実現に必要な高次教育制）は、高校生の数育課程はもう入ること、入学後は不^レ満足なものである。その結果として、この道程にはいかに不利であるか、それが『過剰以上の不利益』」

不登校支援の基本的な考え方

……不登校の時期が休養や自己発見の時期である一方で、卒業の遅れや就職活動上の不利や社会的自立へのリスクが存在することに留意すること。

表の裏方	例えは……今日が「6月10日(月)」ならば……
月日	「文豪」は……リズムを取り出しにいきなり明け、異国で映画を観しやすく、文豪が知る意味のことを書くと
曜	……
ギリギリ	「文豪30日(月)のペース……ということ……」 「7月30日の「文豪」のペースを踏まえていると、年間30日を踏まえるペース

朝又ば……今日が「6月10日(月)」なれば……

『欠席者』は……リズムを取り戻しにくい夏休み明け、風邪等で体調を崩しやすく、欠席が頻る生徒のことを考へると

「71など、その日の「笑う」の数を聞いていると、年間30日を越えるペースで、欠席30日単り単りのペース……ということ……」

3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
月	火	水	木
欠26	欠27	欠28	欠29

まだ「4日ゆとり」ではない。いう間に30日超

日期	12月9日	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月16日	12月17日	12月18日	12月19日	12月20日	12月21日	12月22日
火	火	水	不	金	月				博子旅行	不	金			
欠18		4.0								19	欠19			欠19

「父黨が多い」ということは…

◆広義の「進路」
 「社会的自立に向けて自分の進路を自分を中心となって選んでいく。つまり上げ

父20

試験の合格基準において欠格事項、審議事項
を(R6入試)

⑤の事項に該当する者は…他の受検生と区別する。
由の知照にかかわらず、いずれかの学年で30日以上欠席がある者、
⑥で合計50日以上の欠席がある者]

不登校支援の基幹的働き手

2月23日	水	木	金
欠24	欠24	欠24	欠24

…不登校の時期が休養や自分自身を直すための重要な契機を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利な影響をもたらす可能性がある。社会的自立へのリスクが存在することに留意すること。

欠2	欠25
欠24	欠25

3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
欠26	欠27	欠28	欠29
月	火	水	木

まだ4日ゆとり。Jではない。
 前まで残っていたという間に30日超
 えた。30日超えなければよいというものでもない

